

第1回恵那市武並町道の駅検討委員会 会議録

日時：令和5年11月17日（金）10：00～11：30

場所：恵那市役所 会議棟 中会議室 A・B

1. 開会
 2. 委嘱書の交付
 3. 市長あいさつ
 4. 会議の成立
 5. 委員会要綱の説明
 6. 会長・副会長の選出
 7. 議事
 - (1) 武並町道の駅のこれまでの経緯
 - (2) 道の駅基本計画の策定について
 - (3) 武並町道の駅運営検討委員会について
 8. その他
 9. 閉会
-

公開又は非公開の別 公開

出席者

磯部友彦委員、柘植昭男委員、瀬瀬錬一委員、安藤克典委員、大宮勇輝委員、
小川智明委員、丸山保昭アドバイザー、加藤忠士アドバイザー

欠席者

渡辺武彦委員、澤田利文委員、大森将人委員

傍聴者 0名

1. 開会

■事務局（進行・原局長）皆様こんにちは。本日はお忙しい中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。定刻となりましたので、これより、「第1回 恵那市武並町道の駅検討委員会」を開催いたします。私は本日司会進行を勤めさせていただきますリニア都市計画局長の原と申します。よろしく願いいたします。

会議を始めます前に本日の資料の確認をさせていただきます。お配りしました資料は、次第、名簿、席次、委員会要綱、恵那市武並町道の駅検討委員会資料の5点でございます。お手元でございますでしょうか。

なお本日は渡辺武彦委員、澤田利文委員、大森将人委員につきましては事前に欠席の報告をいただいております。

会議の開催に先立ちまして、この委員会は公開の会議とさせていただきます。よって会場には傍聴席を用意しております。

また、議事の要旨を恵那市のウェブサイトで公開いたしますのでご了承をお願い致します。

2. 委嘱書の交付

■事務局（進行） 続きまして委嘱書の交付を行います。委嘱書の交付は、時間の都合上、机上での交付とさせていただきますので、ご了承ください。任期でございますが、令和5年11月17日から令和7年3月31日まででございます。よろしくお願いいたします。

3. 市長あいさつ

■事務局（進行） 続きまして、市長あいさつですが、市長は本日、他の公務で不在ですので、副市長の大塩からごあいさつ申し上げます。

■副市長 おはようございます。まずは皆さん、委員をお引き受けいただきましてありがとうございます。瑞浪恵那道路は橋脚が建ち始めている箇所もあり、着々と整備が進んでいると感じております。恵那市としましては、瑞浪恵那道路の開通に向けて工業団地を整備しております。すでに2区画売れておりまして、一つはヘレウス・エレクトロナイトさんという会社が千葉県市川市からこちらへ本社ごと工場を移転するというのが決まっております。もう一社はヤマシンスチールさんが工場の増設ということで2月末から着工する予定になっております。このように、もうすでに瑞浪恵那道路の効果が出ております。

今回は道の駅の検討委員会ということで、簡単に経緯の話をさせていただきます。まず、国道19号瑞浪恵那道路の計画が国から示されまして、それに合わせて平成24年、平成30年に武並町から道の駅誘致の要望が出ております。そのあと、令和元年に地域で武並駅周辺整備検討委員会が立ち上げられ、令和3年には地域の意見をもとに市が道の駅基本構想を策定しました。そして、今年になりまして、地域で道の駅の具体的な運営検討を行う委員会が立ち上げられまして、検討が重ねられているという状況です。

こうした動きを受けまして、道の駅の整備について市で委員会を設置して、道の駅基本計画の策定に取り組むということになりましたので、ぜひ皆さんからいろんな意見をいただきたいと考えております。本日はどうかよろしくお願いいたします。

■事務局 副市長は他の公務がございますので、ここで退席させていただきます。

(副市長 退席)

4. 会議の成立

■事務局（進行） 続きまして 本日の会議の成立について報告いたします。恵那市武並町道の駅検討委員会設置要綱第6条の規定により、過半数である、6名の委員が出席されておりますので、本委員会が成立したことをご報告申し上げます。

また、今回アドバイザーとして多治見砂防国道事務所 計画課長 丸山保昭様、恵那土木事務所 副所長 加藤忠士様にご出席いただいております。

5. 委員会要綱の説明

■事務局（進行） 次に委員会要綱をご説明します。

(事務局から要綱に基づき説明)

■事務局（進行） ただいまの内容についてご質問はございますか。ご質問なければ次に移ります。

6. 会長・副会長の選出

■事務局（進行） 続いて、会長および副会長の選出に入ります。委員会設置要綱第5条の規定により、会長および副会長は委員の互選により選出することとなっておりますが、どのようにいたしましょうか。

■安藤委員 事務局案はありますか。

■事務局（進行） ただいま、事務局案はあるかというご発言がございました。では事務局から案の提示をお願いします。

■事務局 会長に学識経験を有する者として磯部委員、副会長に武並駅周辺整備検討委員会を代表する者として瀨瀨委員を事務局案として提示します。

■事務局（進行） ただいま事務局より説明がありました。ご意見ございませんでしょうか。

(異議なしの発声)

■事務局（進行） ありがとうございます。会長は磯部委員、副会長は瀨瀨委員に決定い

たしましたので、よろしくお願ひいたします。それでは、磯部会長は会長席へ、額額委員は副会長席へのご移動をお願ひいたします。

■事務局（進行） ここで、磯部会長から、ごあいさつを頂きたいと存じます。会長よろしくお願ひいたします。

■磯部会長 中部大学の磯部でございます。恵那市さんとは都市計画審議会の方をずっと担当させていただいています。今回の武並町には中部大学の研修センターがあるということで、縁があると感じております。よろしくお願ひいたします。

■事務局（進行） ありがとうございます。続いて、額額副会長よろしくお願ひいたします。

■額額副会長 どうも皆さんお忙しいところご出席いただきありがとうございます。今回第1回の検討委員会ということで、磯部会長のもとで頑張っていきたいと思ひます。また、今回は多治見砂防国道事務所の丸山計画課長、恵那土木事務所の加藤副所長にもご出席いただきまして、武並町の振興についてご協力をお願ひしたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

■事務局（進行） ありがとうございます。以後の進行につきましては、委員会設置要綱第6条により会長に議長を務めていただくことになっておりますので、磯部会長、議事進行をお願ひいたします。

7. 議事

・議事（1）「武並町道の駅のこれまでの経緯」

■磯部会長 それでは議事に移ります。議事（1）「武並町道の駅のこれまでの経緯」について、事務局の説明を求めます。

（事務局から資料に基づき説明）

■磯部会長 ありがとうございます。ただいま議事（1）について、事務局から説明がありました。何かご意見等ございますか。

（意見等特になし）

■磯部会長 ご意見無いようですので、次に移ります。

・議事（2）「道の駅基本計画の策定について」

■磯部会長 続いて、議事（2）「道の駅基本計画の策定について」について、事務局の

説明を求めます。

(事務局から資料に基づき説明)

■磯部会長 ありがとうございます。ただいま議事(2)について、事務局から説明がありました。何かご意見等ございますか。

■柘植委員 道の駅の整備方法について、一体型、単独型のメリット・デメリットを教えてください。

■事務局 一体型だと、休憩施設や駐車場等の一部施設を道路整備と合わせて道路管理者にやってもらえるという費用的なメリットがあり、デメリットは特にないと考えます。市としては、今回瑞浪恵那道路の開通を契機に道の駅整備も合わせてやっていきたいと考えています。

■柘植委員 費用面のメリットを取って一体型を目指すということですか。

■事務局 それだけのためにというわけではなく、やはり新たな道路ができるということで、現在は19号沿いの休憩施設が内津峠の簡易パーキングエリアから道の駅賤母までないという現実もあり、休憩する場所が欲しいというニーズを考慮して、道路と道の駅の相乗効果が見込めると考えております。

■安藤委員 瑞浪市はどちらの整備方法を目指しているのですか。

■事務局 一体型を目指されていると聞いています。

■磯部会長 資料 P.4 の「整備」という言葉は「お金を出す」という意味だと解釈しています。道路の機能としては通行することだけでなく周辺の土地活用という効果もあります。道路休憩施設にプラスして地域振興施設を整備する意味合いの一つとしてはトイレの管理などが関係しており、過去の経緯の話で、トイレだけをいつも管理するのは大変なので横にお店を作って営業と一緒にトイレも管理してもらおうという面もあったかと考えられます。そして、お店が思った以上に流行ったためどこもやりたいという話になり、それなら市町村もお金を出してほしいという経緯が過去にあるのだと思います。

■丸山アドバイザー 一体型というのは、道路利用者の方に休憩してもらうために、道路管理者が整備するというものです。先ほど事務局が言ったように、内津峠から賤母まで約60キロの間に休憩施設がないのは確かですが、瑞浪恵那道路に休憩施設は位置づけられていないのが現状です。瑞浪市および恵那市から一体型が希望ということは聞いていますが、一体型で作れるかは決まっていません。また、単独型には補助制度という国のバックアップがあるので、市町村だけが負担するという事もないです。お金だけで全て考えず、一体型、単独型については色々議論していただいた方がいいのではないかと思います。

■柘植委員 近隣の道の駅と共存共栄していくには、今回の道の駅の特徴を出していく必要があると思います。単独型で全て市が整備する方が特徴を出せるというなら、その検討もしてもらった方がいいように思います。

■磯部会長 道の駅の機能は休憩施設だけでなく情報発信の機能もあります。昔は案内人がいましたが、今はインターネットで情報が取れるので様変わりしてきています。地域振興施設の面白い使い方として、秋田のとある道の駅では地元の祭りで使う太鼓の保管・展示をされていて、博物館的な使い方をしているところもあります。他にも防災機能があり、田舎だと救急車両が通れる十分な道がなかったりするので、ドクターヘリへの乗せ替えの場所にもなるということもあります。知恵を絞ると色々と役に立つ施設となるかと思えます。

■加藤アドバイザー 今後のスケジュールや、この委員会でどこまで進めるのかということをご教示をお願いします。基本計画でどこまで詰めるのでしょうか。また、計画策定後は施設の詳細設計などに進むのでしょうか。

■事務局 具体的な内容については現在、地域の運営検討委員会で検討をいただいているところです。検討項目としてはコンセプト、基本方針、導入機能等々あるのですが、これがそのまま基本計画の中身になってきます。そのため、運営検討委員会で話し合った内容をまとめて骨子案を作成し、次回の委員会で皆様にご提示できればと考えております。今年度は基本計画の策定ということで、来年度についてはまだ決まっていますが、道の駅の管理運営をしている観光交流課や農政課という関係課も交えて検討を進めていければと考えております。

■磯部会長 P.9の図の自然体験ゾーンとはなんですか。

■事務局 基本構想策定時にはなかったところです。地域の駅周辺整備検討委員会や、市の公園あり方検討委員会の議論をもとに、場所的に道の駅やスケート場との連携も期待できるので、なんとか公園を作れないかということで市のほうで検討しています。今回は提案という形で載せています。

■磯部会長 今回は道の駅という狭い範囲の検討になっていますが、将来的には周りのスケート場や中部大学等の施設と連携するといった広がりを持てると、魅力的な施設になるのではないかと思います。

■磯部会長 他にございませんでしょうか。

■磯部会長 ご意見無いようですので、次に移ります。

・議事（3）「武並町道の駅運営検討委員会について」

■磯部会長 続いて、議事（3）「武並町道の駅運営検討委員会について」について、事務局の説明を求めます。

(事務局から資料に基づき説明)

■磯部会長 ただいま議事(3)について、事務局から説明がありました。何かご意見等ございますか。

■柘植委員 私は地域自治区会長会議の代表として、中野方から来ています。資料の中に「武並町で生産した野菜や果物」という言葉が出てきますが、例えば恵那の北部にある笠周地域にも色々と名産品があります。今は「武並町で」と限定された書き方になっているので、ここに「周辺地域」というのも入れていただければと思います。

■磯部会長 そのあたりは今後の検討課題だと思います。

■加藤アドバイザー 運営方法、整備手法は次の委員会で示してもらえるのでしょうか。

■事務局 具体的な検討を今進めていますので、骨子案に合わせて次回の委員会で提示させていただきます予定です。ちなみに、基本構想の中では地元の組織が指定管理で運営するという記載があります。

■安藤委員 P.15の表にあります、施設としてはここから取捨選択したものが基本計画に載ってくるような理解でいいでしょうか。

■事務局 そうです。次回委員会では導入機能の検討段階の資料をお示ししますし、また、「ゾーニング」というどこにどんなものをどんな意味で置くのかといったところもお示しできるかと思います。それらをまた皆さんに審議いただきたいと思います。

■磯部会長 P.15で考えられているのは、訪れる人がどのような目的で来るのかということだと思います。例えば、観光バスで旅行していて、トイレ休憩のついでに買い物のみしていくパターンや、体験型ということで、道の駅が目的地になるパターンもあるかと思っています。どういう人たちに訪れてほしいか、そのために何を売って、何をサービスしたらいいのかという話だと思います。最近は体験型が話題になっていますので、他では体験できないことを提供できると面白いかと思っています。

■磯部会長 ちなみに中部大学には環境保全教育研究センターという組織がありまして、5つのユニットでやっています。その中には食文化のチームもあり、東濃地域の食文化を研究しています。そんなところで、今回の道の駅のコンセプトとも一致する点がありますので、今後連携していけるといいのではないかと思います。

■安藤委員 研究センターへは大学からバスで送迎があると聞いたことがあります。武並駅周辺の整備が進むに伴って、大学生がJR中央本線を利用して武並駅から歩いて移動してもらえると、道中町へ良い影響があるかと思うので、大学で検討してみたいと思います。

■磯部会長 他にございませんでしょうか。

■磯部会長 以上で全ての議事は終了いたしました。本日の委員会の内容は以上でございますが、その他ご意見等よろしいでしょうか。

■瀬瀬副会長 今日参加している大宮委員は、武並町道の駅運営検討委員会の副委員長として、地域の方で検討を進めてくれています。せっかくなので、意気込みを話してもらいたいと思います。

■大宮委員 ご紹介いただきました大宮と申します。よろしくお願いします。まず、運営検討委員会のメンバーの思いとしては、道の駅を計画して作ってはい終わりというのではなく、そこを拠点として、武並町ひいては恵那市全体のにぎわいの創出に繋がりたいと考えています。それだけの覚悟を持って私たちも動いておりますので、今後も色々な方を巻き込んで、みんなで盛り上げていきたいと思っています。応援よろしくお願いします。

■磯部会長 はい、どうもありがとうございます。最後に事務局から何かございますか。

■事務局 本日は貴重なご意見ありがとうございました。いただきました意見を踏まえ、検討してまいりますので、次回もよろしくお願いいたします。

■磯部会長 それでは、事務局に進行をお返しします。

9. 閉会

■事務局（進行） 磯部会長、ありがとうございました。最後に瀬瀬副会長から、閉会のあいさつをお願いします。

■瀬瀬副会長 今回の内容をまた精査しまして、次の会議に向けて行政と協力して進めていきたいと思います。武並町だけでなく、恵那市全体や近隣市町村との連携など大きな考えで進めていきたいと思います。それでは以上で会議を終了します。ありがとうございました。

（閉会）